## 大塚の一つ井戸と白馬（民話）

所在地　筑前町大塚321-1番地

大塚には大きな塚（古墳）が一つあり、これが村の名前になりました。昔、となり村に住んでいた長者がなくなり、その黄金の財宝はひそかに埋められたといいます。やがて、毎年師走の29日になると、その黄金の精は白馬に姿を変え、街道を駆け抜けました。そして、その白馬にふれた人は長者になるともいわれていました。ある年、大塚村を守る田の神様が白馬に乗ってあらわれ、「近いうちに、村で大火事が起こるから気をつけるように」と云い残し、立ち去って行きました。村の人たちは他の神様のことなどすっかり忘れていたのでしょう、誰もその言葉を信じようとしませんでした。しかし、一月もたたないうちに本当に大火事があり、村は全焼してしまいました。また、ある時、あろうことか、大塚村で一人の坊さまが白馬にまたがり、田の神様の前を通り過ぎました。田の神様がお怒りになったのでしょう、坊さまも井戸に落ち、死んでしまいました。それから、村では決して白馬を飼わなくなったといいます。そして、あちこちの井戸で水が白く濁るようになりました。ただ一つ、村の辻にある井戸だけは清らかな水が湧き出ています。これが大塚の一つ（もやい）井戸で、村には大正時代まで井戸が一つしかありませんでした。

これは、戦国時代に白い馬に乗っておれば大将として討たれることがある。また村中がただ一つの井戸をつかっておれば、朝に晩に顔を合わせるので、敵味方に分かれて争うようなことがない。との先人の知恵から出た伝説ではないかと、考えられるそうです。

## 猿田彦神（さるたびこ）

さるたびこ【猿田彦】

大塚の入口には、猿田彦の石碑が立っています。

「さるだひこ」「さるたひこ」ともいい、記紀神話【記紀（きき）とは、『古事記』と『日本書紀』との総称である。】の神。天孫降臨（てんそんこうりん）に際して、その道案内をした。容貌魁偉（ようぼうかいい）で、鼻は高く、身長は七尺余。後世、庚申（こうしん）信仰や道祖神などとも結びついたそうです。

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。


**お問合せ：筑前町社会福祉協議会**
**（筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館）**
**ＴＥＬ：0946-42-4555（担当　時津、石丸）**
**Eメール：chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp**




# 歴史を感じて

## 三輪①大塚マップ

この資料は、筑前町の歴史、三輪の昔ばなしなどをもとに作成しています。

# ぷら～り散歩

大塚の神社、遺跡、公民館、公園等や地域の活動を紹介します。

これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな！

### 大塚

| | |
|---|---|
| 神社 | 天神社 |
| 古墳 | 大塚古墳 |
| 伝承と民話 | 一つ井戸 |
| その他 | 武井五一右衛門顕彰墓 |

大塚古墳は、
卑弥呼の墓？

# 大塚マップ

## 大塚古墳

## 猿田彦神

## 武井五一右衛門顕彰墓

## 一つ井戸

### 武井五一右衛門（ごいちえもん）の功績

大塚は水便（すいびん：水を確保し、使うのにつごうのいいこと。水利。）が悪く、水不足に悩まされていました。そこで安政年間（1854～60）に大塚堰を造り、灌漑用水を確保しました。また、大塚の青年たちの教導にもあたりました。その功績を称えるため門下生が建てたものです。（大塚の墓地に建っています。）

## 天神社

## 大塚公民館

## お宮掃除

## 大塚区グランド

## いきいきサロン